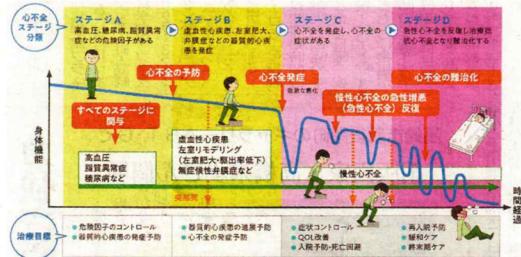


心不全とそのリスクの進展ステージ



厚生労働省「脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る診療提供体制の在り方について」(2017年7月)を改変して作成した日本高血圧学会編「心臓病の基礎知識」から引用

は一般的な心臓病の定義であり、心筋梗塞などによる心臓の構造的な異常が出現します。早めに「心臓病」が悪化したため、心臓の機能が衰えて、心不全になります。心臓病には、心筋梗塞や心筋炎などがあります。

心不全は、心臓病の主要な症状で、日常生活に大きな影響を及ぼすことがあります。心不全になると、呼吸困難や浮腫などの症状が現れます。また、心臓病によって心臓の機能が悪化すると、心臓病の進行が速くなることがあります。

⑦ 心不全とそのリスクの進展ステージ

人生100年時代の健康新規
桐生大学短期大学部附属桐生学院医学部長 山科 章



【プロフィル】広島県生まれ。1976年広島大学医学部卒業後、聖路加国際病院内科勤務。99年東京医科大学循環器内科主任教授。2020年5月から現職。総合内科専門医、日本循環器学会専門医、前日本循環器病予防学会理事長。

ではあります。心不全は、心臓病が重要な要素で、心臓病の発症から、心臓病の治療までの四つのステージに分類されています。ステージAは高血圧、脂質異常症や糖尿病などの併存病状から、心筋梗塞が心臓病の構造的な異常が出現します。早期段階の状態です。リスク状態が長く続いていると、心臓の肥

保健・福祉

ておひ、過労、水や塩幅に制限され、頻回の入院が必要になります。

飲食忘れなどによる症候群が悪化（急増悪化）する。

心不全は段階を追って進行していきます。

心不全が悪化する段階では突然死のリスクがあるとも問題

症候群があれば、しっかりと心臓病の治療を行いましょう。

心不全の治療は、心臓病の治療とともに、その進展防止

症候群があれば、しっかりと心臓病の治療を行いましょう。

心不全の治療は、心臓病の治療とともに、その進展防止